

江別市の小中一貫教育の目的

小中連携教育のうち「目指す子ども像の共有」と9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指します

目指す子ども像

夢をいただき 仲間と共に 未来をひらく子ども

これからの「今まで通りでは通用しない」「正解が見えない」社会を生き抜くには、「主体性を持ち、多様な人々と協力して、問題を発見し、答え（最適解・納得解）を見出していく力」が求められています。9年間の教育活動において、子どもたちに「夢をいただく」ことで将来を見据えさせ、自らが、他とともに、課題解決を図る「ともに未来をひらく力」を付けていくことが重要であることから、上記めざす子ども像を設定しました。

目指す具体像

- ① 目標に向かって努力する子（強さ、課題解決力、夢の追及）
② 自分の考えを表現する子（伝える力、ICTの活用）
③ 仲間と共に協力する子（思考力、協働、対話、思いやり）
④ 元気に挨拶する子（礼儀、たくましさ、地域との連携）
⑤ ふるさと江別を愛する子（郷土愛、総合的な学習、CS）

一目でわかる！

令和6年度保存版

第一中学校区 小中一貫教育



上江小教育目標

- いきいき のびのび
○かながえる子
○やさしい子
○げんきな子
○なかよくする子



第一小学校教育目標

- 夢をいただき 未来をひらく
江別第一小の子ども
○思いやりをもち 助け合う子
○すすんで学び よく考える子
○ねばり強く やりぬく子
○心もからだも たくましい子



第一中学校教育目標

- 自ら進んで学び未来を創造する生徒
○豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒
○強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

「一目でわかる小中一貫教育 PDF 版」は、各校ホームページよりダウンロードできます

学習のスタンダード

(学びで大切にすること)



三校共通 生活のきまり

- 自分から「あいさつ」をしよう。
● 「言葉づかい」に気をつけよう。
● 思いやりの心を持とう。
● 「きまり」を守ろう。
● 学習の準備をしっかりとしよう。
● 落ち着いて学習に取り組もう。
● 進んで学習に取り組もう。
● 家で勉強する時間を作ろう。

第一小は、三中学校区ともこの8つの約束を共有しています。

9年間を見通した系統的な教科指導

教科系統表を作成し、小学校と中学校の教員が共に「これからどう学習指導していくのか」「これまでどう学習してきたのか」を考え、9年間の学習のつながりを意識して、指導をしていきます。

Table with 8 columns: 国語, 算数・数学, 社会, 理科, 外国語・英語, 音楽, 体育, 図工・美術, 技術・家庭, 養護・栄養・事務, 特別支援教育. Each cell contains specific learning objectives and methods for that subject.



児童会・生徒会合同事業

- 小中の書記局の交流を目的として、第一中生徒会と上江小・第一小児童会合同の挨拶運動を年2回実施します。地域と合同の取組を目指します。
● 3校の交流の場をもち、活動についての振り返りをします。
● 行事写真パネルの展示交流を実施します。

中学校体験

- 中1ギャップの緩和のために小学校6年生の中学校登校を年2回行います。
● 中学校生活（勉強、部活、評価の仕組み）などについて説明をし、イメージできるよう指導します。
● 中学校の空いている教室で、中学校の教員が授業を行います。



総合・キャリア教育

- SDGsの観点を取り入れながら、総合的な学習の時間の実践を積み重ねていきます。
● 自分自身の成長を振り返られるよう、キャリアパスポートで記録を残していきます。

部活動体験

- 秋休み期間に部活動体験を行います。複数の部活の見学ができるようにします。
● バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、野球部、サッカー部、吹奏楽部、剣道部、美術部、ソフトテニス部の体験を実施します。
● 保護者の方も一緒に来校し、見学することができるようになります。



各種調査・アンケート

- 下記の調査・アンケート項目で、目指す具体像の達成状況を測ります。
・「将来の夢や希望はありますか」 小中ともに80%以上
・「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表していましたか」 小中ともに70%以上
・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」 小中ともに90%以上
・「元気に挨拶していますか」 小中ともに95%以上
・「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」 小80中60%以上